

平成29年度自己評価報告書



平成29年6月1日

■ 園の概要

当園は、埼玉県越谷市に昭和47年4月に学校法人として開園しました。

長年、産業道路沿いの「ピンク色の幼稚園」として子ども達の目ひく園舎にて幼児教育を行ってきました。平成25年4月、園舎の老朽化や交通量の多い道路事情を考慮し、よりよい教育環境をめざし川柳町へ移転、新築いたしました。

待機児童の増加という現在の子育て事情を鑑み、「少しでも、地域の子育て環境を良くしたい。」との思いから、保育園部門を設置し「認定こども園」として同年開園致しました。

平成27年「子ども子育て新制度」に伴い、幼稚園部門・保育園部門が統一され、新たなスタートを切っております。

■ 本園における園評価のねらい

■ 園評価2年目となる今年度は、振り返りを行うことでより良い保育や園行事・園運営の充実に生かしていきたいと考えております。今年度も職員の自己評価や、外部の皆様に意見を出して頂くためのアンケート調査を行い、昨年よりも内容の濃い園評価を実施していきたいと思っております。

学園理念

【教育目標】

つよい体やさしい心の子どもに育てる。

【保育目標】

家庭的保育かつ集団生活における教育の中で一人一人がいきいきとした生活を送る。

【経営理念】

子ども・保護者・教職員に対するサービス心の経営。

基本方針

総合的な経験や具体的な活動を通して、情緒の安定した安全な生活を送り、心身の健全な発達を図る。子育て付加事業により、保護者の思いをサポートしながら、子育て環境の活性を図り社会的役割を果たす。

教育目標

- 一、心身共に健康で明るい子ども
- 一、がまん強く、頑張りのきく逞しい子ども
- 一、優しく素直で、思いやりのある子ども
- 一、ご挨拶の出来る子ども

具体的目標・計画

① 教育課程・指導

- ・年間指導計画、週案、月案などの作成
- ・チーム保育などでの職員間の連携

・週案や月案などを作成することより、一日の保育の流れなどを明確にする事が出来る。
・当番などで、部屋を離れる時や有休時に担任の先生に代わり部屋に入ってくれる職員に対して申し送りなどを行い、その日の保育が運営できるように努めている。

② 保健管理について

- ・乳幼児に対する日常の健康観察
- ・環境検査の実施感染症対策
- ・感染症対策（手指消毒、除菌）
- ・保健計画の作成

・登園時や日中の活動中、園児に変わった様子がないか常時観察している。
・感染症の流行時、オゾン効果のある空気清浄機「トータルピュア」にて蔓延を防止。
・食事の際は、うがいや手洗いの徹底。
・保健衛生マニュアルによる、感染症や吐物などへの対処法

③ 安全管理について

- ・防災用品の購入
- ・登降園時の送迎車や自転車の誘導
- ・電子錠による施錠

・災害時に向け、備蓄品を収納する防災倉庫、ワイヤレスアンプを購入。
・定期的な AED の電池残量確認。
・普段から、登降園時の送迎車や自転車の駐車・駐輪を促し安全管理に努めている。
・毎月一度、避難訓練を行っている。

④ 組織運営について

- ・教職員への勤務要綱マニュアルの周知（年度当初）
- ・教職員への情報の取り扱い方針の周知（年度当初）
- ・教職員への保健衛生マニュアルの周知（5月）

・年度当初に教職員で勤務要綱マニュアルの読み合わせを行った。それと同時に個人情報の取り扱い方や、守秘義務についても周知した。
・保健衛生マニュアルによる、感染症

⑤ 研修（資質向上の取組）

- ・資質向上のため全教員が園外研修へ参加

・各保育士、園外研修への参加は積極的に行っている。
・昨年度、議題にあがった「園内研修の充実」を今年度は実施。
・保健衛生マニュアルによる、感染症や吐物などへの対処法の勉強。

⑥ 情報提供

- ・園だよりやクラスだよりなどを通して、保護者に情報を提供
- ・HP を通して園内の情報を提供
- ・ブログや、エントランス内に設置しているモニターにて、その日の出来事を見る事が出来る

- ・掲示板や、園内の壁などに必要であるお知らせを掲示。
- ・園だよりに記載してある、予定表により行事などを周知して頂いている。
- ・HP の新着情報により、園の最新情報を提供。

⑦ 保護者・地域住民との連携

- ・集団感染などが流行る時期など、小学校との情報交換を行っている

- ・夏の夕べ（夕涼み）や運動会など、園庭で音響を使用する行事を開催する際は、地域住民に周知して頂くため、お知らせの手紙を1件1件配り歩いている。
- ・台風発生時等、小学校と連携し情報を交換。

⑧ 子育て支援

- ・幼児教室「スターキッズ」
- ・月数回の「園庭開放」
- ・相談内容に応じて、担当者が個別に対応する「子育て相談」

- ・未就園児を対象としたプレスクールを、月に一度 開催している。
5月～10月は2・3歳児、11月～3月は0・1歳児と対象年齢を分けて、教室を開催することにより、月齢に合ったものを提供できている。

⑨ 預かり保育

- ・就労の有無に関わらず、教育標準認定（1号認定）の方は、幼稚園型一時預かり保育「エンゼルルーム」を18:00まで行っている。

- ・リフレッシュを兼ねての、エンゼルルームを利用も可能。

⑩ 教育環境整備

- ・遊具などに危険箇所がないか、定期的に点検を行っている。
- ・園庭や園舎など、危険箇所がないか定期的に点検を行っている。

- ・修繕箇所を発見した際は、園長まで直ちに報告。
その後、必要とあれば業者を呼び対応。

項 目		29年度の… 達成状況・評価・反省
教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ つよい体 ・ やさしい心の ・ 子どもに育てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るくのびのびと戸外あそびや様々な活動に進んで取り組めるように声掛けをしていくことで興味・関心をもって体を動かす楽しさを味わうことができたと思う。 ・ 異年齢の子ども同士の関わりを大切に、共に過ごす喜びや遊びの中で親しみが深まり優しさをもって生活することが出来ている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭的保育かつ ・ 集団生活における教育の中で ・ 一人一人がいきいきとした ・ 生活を送る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども一人ひとりの思いや気持ちに気付き受け止め、その都度1対1で関わることで無理なく生活を送ることができた。好きな遊びを通して多くの友達と関わることを楽しめるように環境を整えることにより集団で遊ぶことや一緒に生活していく楽しさを伝えていけたと思う。家庭との連携を大切にしながら、充実感や満足感を味わえるような保育を続けていこうと思っている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心身共に健康で明るい子ども ・ がまん強く、頑張りのきく逞しい子ども ・ 優しく素直で、思いやりのある子ども ・ ご挨拶の出来る子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思い切り遊ぶことで生きることや生活することを充実できるように心掛け、子どもの好奇心から生まれる「やつてみたい」という思いや行動を大切に寄り添っていくことで挑戦したり思いやりやコミュニケーション、言葉など遊びを通して広がっている。子どもとじっくりと関わり理解を深めより良い、その子に合った関わりを見出していけるようにしていきたい。

項 目		29年度の… 達成状況・評価・反省	
学年の年間目標	乳児組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ひとり、気持ちによりそった関わりをすることで、自己主張も出来るようになった。 ・ 生活リズムをしっかりと作ることで生活習慣を身につけ身の周りことを自信を持って行い、安心して活動に取り組んでいた。 ・ 様々な行動や活動を通し、興味、関心を持ち進んでやってみようとする姿が見られた。 	
	年少組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園生活の流れや生活の仕方が分かり、自分の身の周りのことをしようとする ・ 自分の「興味・関心・思い」を自分なりの方法で表現する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園生活に慣れ、ほとんどの子が自分の事は自分である姿が見られ、友達に手助けしようとする子も見られるようになった。 ・ 保育者や友達との生活や遊び、行事を通し様々な経験が出来た。自分なりに表現する楽しさを感じ意欲が増した。
	年中組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の思いを言葉にして伝え、相手の気持ちを考えたり思いやりの気持ちをもつ。 ・ 遊びのルールを守りながら活発に遊び、保育者や友達との関わりを広げ、仲間意識を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人差はあるものの、自己主張はだいが出来るように譲り合うことも少しずつ出来るようになった。 ・ 集団遊びというよりは、個々での自由遊びの時間が多かった。
	年長組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就学に向けて、クラスの中で自分の役割を見つけたり、自主的、意欲的に活動するようになる。 ・ 友達との関わりの中で自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の気持ちが分かるようになり、受け入れたりする態度がとれるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラスでの目標を達成したり、仲間での意見を出し合う活動により、一人一人役割をもてるようになり、仲間意識が深まった。また、自立的、意欲的に活動することにつながった。 ・ 自己中心的な子が多く、受け入れられるまでに時間が掛かったが、様々な活動を通し相手の気持ちを考えたりすることが出来るようになった。

園務分掌から

評価 A…達成された B…おおむね達成された C…要改善

分掌	29年度の…◆問題点 *検討点 ★良かった点	評価	30年度への改善点
式関係（始終業式・卒園式）	★乳児組の入園式は午前中1時間ほどで終了し、親子共に無理なく参加できていた。 *卒園式の予行練習は本番に近づけるようにしたい。	B	・クラスで練習を進めたり、雰囲気作りとして国旗を出す等する。
伝統行事、こどもの日等	★お祭りごっこでは、0歳から参加し、山車を引いたり、手作りの神輿を作るなど乳幼児が同じように行事に参加でき、どの行事も盛り上がった。	A	・由来についての話など直前になってしまうので、行事に興味、関心を持って参加できるように余裕を持って話していきたい。
食育	★様々な食材に触れ、出来上がる過程が学べ、どの食育教育も、0歳時から5歳児まで楽しく参加できた。	A	・体験教室で終わらないように、過程が学べるように委託業者と内容の見直しをしていく。
誕生会	★乳児も幼児も出し物を楽しんでいた。 ★司会進行のやり方が統一されてきている。 ★舞台上では学年毎に誕生児が座っているが、人数が多い場合でも座り方に工夫がみられている。 ★親子での食事会もあり、楽しめている。	A	・今後も課題があがった際は、意見を出し合いながら、すぐに対処していく。
避難訓練	*抜き打ちの回数が少ない。 ◆実際に地震が来た時に臨機応変に対応できるか不安に感じる。	B	・抜き打ち訓練が年1回しかないので、複数回に増やす。 ・様々なパターンがあるが、避難経路やその場の判断で動けるような計画を立てる。
安全指導・安全点検	★決まり事や、お約束事など日頃からルールを守れるように各クラスで繰り返し指導している。 ★交通安全指導では、信号の見方から模擬道路を使用しての指導が受けられて良かった。	A	・交通指導については市から指導員が来たが、乳幼児にも分かるような説明をしてもらえると良い。
遠足	★乳児遠足に行くことで、どんぐり拾いなど秋の自然に触れ、情緒豊かになった。 ★保護者が作ったお弁当を食べたり、園外ならではの楽しさ、また 社会のルールも学べた。	A	・時間に追われてしまうことが多かったので、計画をしっかりとて、子どもには達成感、満足感が持てるようにする。
水遊び・夏季プール	★乳児の水遊びでは、目を離さず、体調を見ながら、無理せず楽しむ事ができた。 ★子どもと一緒に先生と、プールの外から見守る先生と連携をとり、安全に努め、楽しく入れた。	A	・人工芝が熱くなってしまうので、水をまいたりタオルを敷き気をつけていく。 ・見学の子など、日陰で遊べるものを充実させる。
飼育栽培	★生き物（カブトムシ）野菜や植物を種や苗から育てる機会があって良い。 また、うさぎや魚は年間通して飼育しており、子ども達が小屋の掃除や餌をあげる等 積極的に取り組む姿がみられる。	A	・引き続き、子ども達に良い環境を提供できるように心掛けていく。
乳児組・幼児組の連携	◆幼児組の先生は、乳児組の保育や行事に入ることがあるが反対がないので関わりが少ない。 ★延長保育等で縦割になることで、幼児組が乳児組の子の面倒を見たりする姿も出てきた。	B	・乳児組も積極的に幼児組と関わる環境を作っていく。 ・年齢によって遊びが違うので、室内の設定、おもちゃ等工夫していく。
園外研修	★自身のスキルUPにつながる研修に参加できた。	A	・園内研修を増やし、園外で学んできた事を発表しながら全職員で共有し、学びの場をもうけていきたい。
懇談会、面談	★親同士でディスカッションの時間をもうける事により、子育ての相談にもなり良かった。 ◆面談の時間を確保する事で、勤務時間が超過してしまう。	B	・アドバイスが出来るよう研修などに行き、自分達のスキルを上げていく。 ・父母の気持ちに寄り添いながらも、要点をまとめて話す。

読み聞かせ	<ul style="list-style-type: none"> ★学年に応じた絵本を読むことで、文字や内容に興味を持てるようにした。 *毎日たくさん絵本を読み、発語や情緒を豊かにできるようにしたい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達にしっかりと伝えられるよう、保育内容も見直していく。
学年のコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ★乳児は週1回、乳児会議をすることで、クラスの様子や行事、課題等、連絡を密にとれた。 ◆シフト制の為、全員が揃うことがほとんどなく、細かな打ち合わせが出来ないことが多かった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いが必要な時は、シフトを揃えてもらう。 ・会議に出た先生は、大事なことは会議録だけでなく、口頭で伝える。
子どもと遊ぶ大切さ	<ul style="list-style-type: none"> ★一緒に遊ぶことで子どもとコミュニケーションがとれる。 ★遊びの中で、ルールや発達を促せた。 ◆事務的仕事に追われ、朝や帰りの時間に子どもと遊ぶ時間がとれない。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学年によって必要な言葉を選び、言葉がけをしたり関わりを持っていく。
子どもに対しての言葉がけや関わり	<ul style="list-style-type: none"> ★子どもの気持ちを受け止めながら声を掛けていった。 ★メリハリを持って言葉がけや関わることで信頼関係を築けた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・朝、クラスでの時間が出来るようサポートする。 ・遊びから育つ子どもへの姿を再確認する。
職員会議など	<ul style="list-style-type: none"> ★会議録の書き方やまとめ方に個人差はあるものの、読みやすくなってきた。また、記録もれがあった時には、職員同士で声を掛け合うようにしている。 ★他クラスや他学年の気になる子が周知できる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・記録者は、記入後に確認してもらう。 ・出していない先生に口頭でも伝える。
施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ◆トイレの排水口の臭いがひどい。 ◆各部屋・トイレ・園庭等が壊れていたり、不備があったりする所が数ヶ所見られる。 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・設備業者に連絡をし、来日してもらいたい旨を再三申し出ているが、対応してもらえていない。引き続き連携を図り業者にて来てもらえるようにする。

以上

全教職員への周知・園内掲示・HP上への公開を行うものとする。